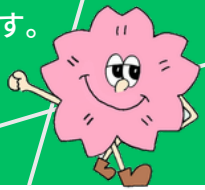


情報活用能力を通じて 子どもの主体性を引き出す！

情報活用能力の育成を通して、子どもが主体的に学び続ける授業づくりに取り組んでいます。

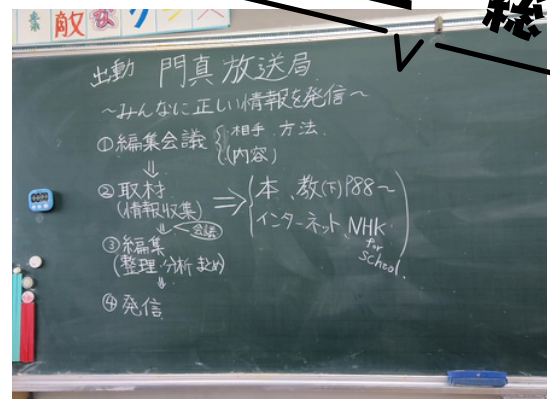
子どもたちが疑問をもち、情報を集めて整理し、伝え合う姿、
学習を自分で調整している姿、その学びの過程をレポートしていきます！



5年生 総合

授業の様子

災害について調べ、まず「だれに発信するのか」を決めて、災害ごとのグループに分かれて学習を進めていました。本やインタビュー、電話、クロームブックなど、それぞれの方法で必要な情報を集めていました。集めた情報をもとに、発信する内容を考えていきました。



学びの改善

担任の先生から、「すぐにスライドにまとめるのではなく、まず集めた情報を整理することが大切」という話がありました。また、伝えたい内容に合わせて、どのシンキングツールを使うとよいかを考えることも確認していました。子どもたちは一度作ったスライドを見直し、「この情報は必要かな？」と考えながら、シンキングツールを使って情報を整理し、内容を改善していました。

すてきな姿 ✨



一度まとめたものをそのまま完成にするのではなく、先生の話聞いて、自分たちの学び方を見直す姿が見られました。「この情報は必要？」「こっちの方が伝わりやすいかな？」とグループで相談しながら、集めた情報を選び直したり、整理し直したりしていました。より分かりやすく伝えるために、自分たちで工夫を重ねる姿がとてもすてきでした ✨

